

記

録

自
至
年
年
月
月

日

米
國
天
皇
領
事
官
ロ
ズ
ベ
ル
ト
離
任
後
東
洋
漫
遊
凡
説
並
ニ
退
職
前
帝
國
皇
室
ヨリ
御
挨拶
ニ
関
シ
在
米
高
平
大
使
稟
申
一
件

門
類
項
目
号

1
3
6

自
至
年
年
月
月

日
日

米
國
天
皇
領
事
官
ロ
ズ
ベ
ル
ト
離
任
後
東
洋
漫
遊
凡
説
並
ニ
退
職
前
帝
國
皇
室
ヨリ
御
挨拶
ニ
関
シ
在
米
高
平
大
使
稟
申
一
件

第

卷

REEL No. 1-0094

0535

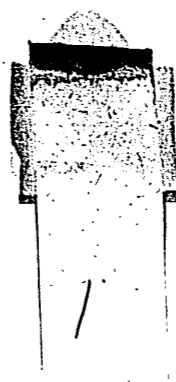
米國大統領の口を以て離任後東洋
漫遊風説並に退職前帝國皇
室より所授抄を以て在米高等大使
稟申一件

外務省

MT 01136 00001

REEL No. 1-0094

0536



明治 年 月 日
 同 年 月 日
 日 起 草
 日 發 遣

沙 友 院 長 兼

長 官

主 持

受 領 印

光

七 十 七 號

支 取

手 子 大 使

林 大 正

第 九 五 号

米 下 大 院 院 長 兼 主 持 兼 支 取 兼 東 洋

之 長 官 兼 支 取 兼 主 持 兼 支 取 兼 東 洋

外 務 省

取 引 官 長 官 兼 支 取

明治 1853 年 7 月 1 日 2 50 号

MT

01136 00003

MT

01136 00002

2

REEL No. 1-0094

0537

大臣

No. 二三四三
暗

次官

政務

通商

人事

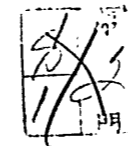
會計

取調

華盛頓發 四十五年七月 三日後二二〇
外務大臣 高平大使

第一〇一號

貴電第九五號、閣下大統領離任
後阿非利加、テ半年計、猛獸、
狩獵ヲナス評説アリ右、就テ國務
長官、嘗テ語ス處、ヨレハ大統領ハ
新大統領、自在ニ政務ヲ執行セ
シメ干渉、嫌ヲ避クルヲ希切王ニ本
國ト交通不便、地ヲ擇ミ漫遊ニ決



四十二年十月九日録編授受

4

セシナリト

泉洋漫遊説、目下之ナシ去レド
ロガハルト氏、在職中我國トノ關係
ニ於テ尋常ナラサルモノアリシヨリ離任
前我 陛下ヨリ御親書ヲ寄セラレ
同氏都合次第我國ニ漫遊スル様
御招待アラセラレシコト兩國好誼、為
然ルヘシト思惟スルモ、這ハ猶ホ間合アル
コトニハ其内公信上申、積リ

MT 01136 00004

MT 01136 00005

明治四十一年十一月十二日發 善政務局

第三課

機密公文第四九號

少上

首相
西園寺

第8門

168號

大統領ロースヴェルト氏満期退職
前我 皇室ヨリノ御挨拶ニ
票議ノ件

大統領ロースヴェルト氏が隣我邦ニ
對シ敬愛ノ念ヲ抱懷シ先年來棧
舎アル毎我ガ為メニ懇誠ナル態度
ヲ執リ日米兩心善隣ノ親交ヲ保維
宣揚シテ兩國ノ康寧ヲ保塞セント
欲スルノ誠情ニ是篤キ次第ニ知
ラレ居ルトニコニテ特ニ三十七年事件進
行中ノ當時ノ如キ我邦ノ安危ヲ以テ

在米國日本大使館

自白ノ事ニ對スルガ如キノ執心ト衷
慮トヲ顯彰シタル實情ハ閣下ノ夙
心洋悉アル所ニ有之持テ講和ノ議
一塵起リテニリシ我邦ノ為メニ具仲介
斡旋ノ方ヲ執ルニ各ナラサルノミナラス
其手段於テモ機宜ノ愆シ其大使
ヲ以テ直揚露帝陛下ニ進謁シテ
平和回復ノ必要ヲ説道セシメ為メニ其
廷臣ノ居仲的干渉ヲ免レ講和ノ進行
上適切ノ効果ヲ収メタルカ如キハ當國ノ
外交歴史上未曾有ノ事ニシテ若シ他
人ヲシテ大統領ノ位置ニ在ラシメハ假令
日本ニ對シテ同様ヲ為スルコトロズヴェルト

MT 01136 00007

MT 01136 00006

5

ト氏ノ如ク切實ナリトスルモ比ノ如ク活潑
 ニシテ有効ナル事多シ出テサリシトラントハ當
 時米國大使トシテ露都ニ駐劄シタリシ郵
 便総監マイヤー氏ノ本官ニ露都ニ在ル所
 有ニ便又曰氏ガ其形勢ノ際親シク實地
 地ニ於テ觀察ノ次第ヲ前クモ當時戰地
 ノ情報ハ類リニ露軍ノおノ有利ノ實
 況ヲ傳ヘ來リ武裝力ノ氣配ヲ頓ニ高
 メタルニ由リ露國側ノ嗜好ニ轉變
 ラ來サントスルノ虞少カラザリト越ニ有之大
 統領ガ極力露帝ニ向ツテ和議ヲ主
 張シタルニ由リ其變況ヲ格止スルニ由リ
 テカアリス様推測セラル、率情モ有
 在米國日本大使館
 之近頃昔上ニ公判セラレタルクロバトキル將
 軍ノ秘密記録ナルモノヲ見ルモ右マ
 イヤー氏ノ觀察ハ事實ヲ誤ラサルヲ
 立証スルノ記事少カラスニテ當時和議ノ
 困難ナルヲ追想セラレハ然ルニ大統領ニ
 ハ其任期在職ニ曰ク餘ヌト幾何ナ
 ラズ明年新大統領就任トモニ其ノ
 位地ヲ去リ當國政務ノ衝ヨリ退
 一人タルハ日米兩國之交トローズウェルト
 氏トノ對聊ハ茲ニ一段落ヲ告グルモノ
 ニ有之任ニ付イテハ此際何等カ令氏在
 職中我邦ニ對シテ不斷懷抱シタル
 如意ト蓋策シタル助力ニ對スル謝

MT 01136 00009

MT 01136 00008

意ヲ顯象スルノ儀有之様致度勿論我
 皇室ニ於カセラレテモ既ニ大統領ノ友
 僚ヲ嘉加悦セラレ隨時機會ニ德ニテ直
 接間接 敬慮ヲ却示表遊ハサレ大
 統領ニ於テモ亦造ニ之ヲ感仰致シ居
 候事ト推察致居候儀有之期満了
 退職ニ奈レ更ラニ新メテ其在職中
 ノ厚情ニ対スル 敬告ヲ通セラルハ愈
 大統領ヲミテ我邦ニ對シ敬仰親密ノ
 觀念ヲ深カラシムル所ニシテ或ハ時宜
 ナルモト思料被致候而シテ其方
 法ニ就イテハ本官ノ考ニテハ我 陛下ノ
 御親書ヲ以テ其本邦漫遊ヲ御勸告
 在米國日本大使館
 遊ハサレ候クハ最モ適切ナラシムト思
 料被致候
 曾テ却報告及修通リ大統領退職後
 亞非利加内地旅行ノ計畫有之右ハ
 殆確定ノ儀有之様兼知致候處全
 氏平常ノ旅行嗜好人全無平民的ナル
 コリ其海外旅行モ一喪民トシテ往復ニ於
 大統領ノ格式ニテ通過信國ヨリ盛大
 ナル歓迎ヲ受テ候如キハ甚ダ迷惑ト爲
 シ居リ海外旅行ノ目論見在ニ傳ハリテ
 リ早クモ獨乙ノ壞不利伊不利等ヨリハ
 其東遊ヲ期迎スルノ内意申出アリ潜
 圖ダニ其意ヲ通ジタルヤノ風評有之候

MT 01136 00011

MT 01136 00010

二拘ハラズ大統領ハ寧ノ口之ヲ避ケテ當
 國ヨリ單ニ猛獸狩ノ地方ニ往來スルニ
 止ル旅程ヲ選ビ修儀信ジテレ^ル光^ル
 摺ニ皇帝ノミハ先頃機密第四〇号^{五月}
 附屬書類中ニ述有之候通り大統領
 其人物ニソキ何トナク趣味ヲ有シ親シク
 會晤シタキ希シク抱キ居候ヨリ或ハ何
 等クノ方法ヲ講ジテ全見ノ機ヲ案出ス
 ルヤモナラズト存修儀^ト其他ノ諸國ニ
 對シテハ餘リ乘氣ヲ表セサリシ様乘知
 致仕候由數日前國務長官ノ由^テ
 コレバ互利加ノ帰途併茶西ニ上陸シ
 夫レヨリ英國ニ轉ジ、オックスフォード^ニ於テ^ハ
 在米國日本大使館
 位ク受クルノ趣向ニ有之^ニ趣^ニ付^テトモ^ト獨逸
 ノ方ハ猶ホ未定ニ爲スル事ト被存^ルハ尤
 モ我邦ハ遠ク東洋ニ隔在レ他歐海諸
 國列在ノ地ト種々事情ヲ異ニシ殊ニ從
 來許多ノ趣味^ヲ以テ密カニ研究ノ次
 第^ニ有之候ハ我邦ノ振替ニ對シテハ特
 ニ乘諾致^ス式ニ測^リズ又仮令即時^ニ
 遣^ルルニ至^ラサルモ壯年ニシテ有為ノ氣
 象ニ富ミ充分未果^ク有スル人ニモ有之候
 ハ右右ハ我谢意表章ノ一途^トシテモ
 適^ニ當^ララレ^ル乎^ニ未^クハ^レ候^間若シ^テ測^下
 ニ^モ幸^ニ御^同見^ニ候^ハハ^レ御^下計^ハ
 成^候様^致候^候

MT 01136 00013

MT 01136 00012



次ニ大統領夫人ニハ婦人ノコトモ有之何
 モ兩國々交ニ干與シタル次第ニハ無之
 モ令夫人モ亦我邦ニ對シテ善意ヲ有レ
 淵下並ニ臨時派出ノ金ヲ子爵等ニ
 對シテ優ニ款接ノ芳ヲ執リタルノミナラズ
 本官ニ對シテモ以終ニ善意ヲ表セラレ
 候儀ニシテ大統領上ノ會見上便利ヲ与
 フシタルフ不少候ニ付人既ニ他米國婦
 人ニシテ三十七八年事は中ノ功蹟ニ依
 リ授勳賜出ノ恩典我皇室ヨリ有之
 候今日大統領滿期退職ノ此儀ニ祭
 大統領夫人ハモ右ノ如ク我主西ノ使節
 款待ノ幕ニ對シテ何等カ御物ニテモ
 贈与有之候様ノ義大ニ候ハハ夫
 人平素ノ厚情ニ對シテ形モ當ノ
 多措置ニラ有之カ
 而シテ前日夕親書並ニ夕贈出ノ事ハ
 幸ニ々裁納ノ儀ナキ儀ハ有之候ハ東
 ル四十二日二月中旬即チロース少エルト
 氏退職ノ期ヨリニ三因湖早日ニ當
 地ニお達ノ様々送出來成度候ト爲
 申進候取具

明治四十一年十月十九日

在米

特余全權大使男爵高平九郎



在米國日本大使館

MT C1136 00015

MT 01136 00014

外務大臣伯爵小村素太郎殿

追々御親書ヲ以テ大統領本邦
漫遊ヲ勸告ノ義事ニ御裁納
有テ軍ヲ以テ命 家族同伴本
邦^國破^亡ノ為メ緩々來航ニハ梯
ノ御塔^岸祥^ヲ御親書中ニ見
ルコトヲ得候ハシ大統領ハ一層其
ノ敬慮ニ感激^ステ致^シ義ト推察
致^シ候^ハ念^ト比^テ義^ト添^テ候

在米國日本大使館

MT

MT

01136 00016

10

REEL No. 1-0094

0544

明治四十年十二月廿四日 起草
同 十一年十一月廿八日 發送

明治四十一年十二月二十八日 發
同 四十一年十二月二十八日 發送

政務局長

主任

機密送付 60 號

小村大臣

在奉

高島大使宛

4 様

ロゾウエルト大統欲由期退後前
和 皇室ヨリノ挨拶ヲ送スル件

外務省

本年十月十九日附様書云第百四十九号ヲ以テ
ロゾウエルト大統欲由期退後前 皇室ヨリ
ノ挨拶ヲ振ニ関シテ重要議ノ件ヲ承知
テ御ノ趣ニ就ラセテ方ニ於テモ篤ト考慮シ
カハル處同氏カ其ニ在後亦新エズ希ニ
對シテ懐抱セル好意ニ基キヨリ帝國政府
於テ亦感戴スル所ニハ一若同氏ノ退後
降ニ 天皇陛下ヨリ特ニ御祝言ヲ蒙ル

MT 01136 00018

MT 01136 00017

其本邦漫遊リ申勸告遊ハサル
 が如キ前例ヲ見ガル異音ノ事ニ屬シ
 何分詮議及シテテテテテテテテ
 空ニ上民ニシテ阿弗利加内地移リノ婦
 孀又ニ其他適者ヲ折テテテテテテテ
 朝者次ハコトヲ得ハ親皇室ノ申満足
 ニ勿論一般官民ニテテテテテテテテ
 進スヘキ疑ナキ知ナルニ依リテ際
 外務省
 於テ桂總理大臣及テ大臣ヨリノ傳
 言トシテ曰大統領ノ如キ漫遊ヲ勸促
 セラハ標致ニ存者大總統夫人ノ傳
 物ヲ贈進ノ儀ニ他日此等ノ如キ事
 常ニ未ニ識ラセテテテテテテテテ
 本館
 本館
 本館

MT 01136 00020

MT 01136 00019

本邦と南洋の通商手続
及回訓の教則

外務省

MT

01136 00021

13

REEL No. 1-0094

0547

5

第2門

寫

電受第三三三号

華英通譯

四十二年二月二十日午後

小村外務大臣

高平全權大使

第二七號

前段畧

本官次機密貴信第六五號、主意ニテ大統領ニテ
 本邦ニ渡東セラレシ得ニ我 皇室初メ官長擧テ直實ナ
 ル敎迎ラテマシト求マシニ房任後二三週間位ニ當國奈臣
 弗利加ニ行キ約一年猛獸狩ニ費シ帰途 巴里伯林「オ
 クスフォルド」大學ニ講演シ為シ之カ為メ六週 間實ニ後直々
 歸米ノ順序故令用ニ遺憾ナカラ本邦ニ趣キ難シト答ヒラセタリ
 「後畧」

編者附言

原書、第二部、在リ

外務省

東京外務省資料部

MT

01136 00022

14

6

第2門

寫

(機密受903号)

機密受第五號

明治四十二年三月二十七日接受

明治四十二年二月二十六日

在米

特命左權大佐男壽高平小五郎

外務大臣伯耆小村壽太郎殿

移民問題清回問題等ニ付大統領誌語ノ件

前畧

本使ハ次キニ機密貴信等五六號ニ關シ大統領ニ
本邦渡遊ノ義ヲ勸タル様閣下並ニ桂總理ヨリ
來意アルコトヲ大統領ニ報リ大統領カ日米兩回
親善ニ貢獻セラレタルコトハ實ニ少ナカラズ且ツ
大統領ノ聲望ヲ欽慕シ其教ヲ聽カントスルニ

外務省

モ多クキヲ以テ大統領ニシテ幸ニ本邦ニ渡來セ
ラルルコトヲ得ハ我皇室ヲ始テ官民等テ莫ク
ナル歡迎ヲナスナルヘント述ヘタルニ大統領ハ離
任後二三週間任ニハ當回ヲ出奔シ亞弗和加
ニ渡リ約一年間猛獸獵ヲ為シ歸途巴里伯
林及「フォクス」ボード」大學ニ至リ講演ヲ為シ之カ
ノ六週間ヲ費シタル後ハ直ニ歸米ノ順序ナルニ
依リ今回ハ右邊憶本邦ニ赴キ難キを自分ハ日
本ニ關シテ大ニ「イン」タレストレシ居ルニ付若シ將來
果シテ好極會ヲ得テ渡遊ヲ試ムルヲ得ハ我本
懐ナリト答ヘラレ候

後畧

此の文は明治四十二年三月二十七日に...

MT 01136 00024

MT 01136 00023

15

REEL No. 1-0094

0549

第2門

7

寫

機密公算七解

明治四十二年三月八日

機密受算九七三解

在来

特命全權大使男爵高平小五郎

外務大臣伯爵小村壽太郎殿

新旧大統領談話ノ件

本月四日新大統領宣誓式後就任ノ演説終ルヲ待テ前大統領ハ帰邸ノ手筈ニ有之矣ニ付本官ハ之ヲ見送ル者ト共ニ停車場ニ赴キタルニ「ロースワルト」氏ハ夫人及他ノ見送人共ナリト共ニ特別室ニ於テ休憩改居シテ本官ノ外外交官ニシテ氏ヲ見送ル者ハ併ニ大使夫妻

外務省

ノミナリシガ口氏ハ痛ク感動セラルタル体ニテ炯々タル雙眼ヨリ何時ニモ涙ヲ落シテ頻ニ本官ノ厚意ヲ謝セシシ或四ノ本官ニ近ツキ来リテ種々ノ談話ヲ交フシ其其主題ハ矢張り日米關係ニ有之ニ付本官ハ甘テハタト氏及ノフクス氏ト共ニ篤ト熱話ヲ遂ケタルニ兩人皆全然余及ルト氏ト同ク同フシ其時ト氏モ傍ニ在リ談話ヲ其其ク之何等異見ヲ示シテ今後ハ余等兩人ニ對セラルト同種ノ友意ヲ以テ右ノ兩氏ニ接セラルハ「ハリ又ルト」氏ハ上院ニ於テ外務委員トシテ重要ナル位置ヲ占ムトキカ故ニ今後共同氏ニ信賴セラルハノ便宜アルハ此ト語ラレテ依テ本官ハ氏ノ厚情ヲ深謝シ兩國ノ關係ヲ改善スルニ力メニハ及ナカシ努力スルノ覚悟ナルヲ以テ決意シ願セラレ成就テ之ヲ申入レタル事

此機密トシテ保存セヨ

MT 01136 00026

MT 01136 00025

ニ付テハ更ニ執考ツタヘラレ是非決行アリトテ希望
 之ル旨申述主処ロ氏ニ之ニ對シ余ハ既ニ一己ノ私人ニ
 過ヤサレバ責問、然ラモ何等兩國ノ關係ニ貢獻スルハ
 能カルベシトテ辭退セヨシタルニ依リ本官ハ更ニ同氏
 ニ對シ閣下ニハ今後國事ヲ指揮シ之ヲ統理スルノ權能
 ヲ有セラレザルニ相違ナカシキニ閣下ノ言説ハ或ハ
 過志ニ於ケルヨリモ更ニ多ク世人ノ注意ヲ受クマシト
 思世スルヲ以テ閣下ノ本邦漫遊カ月米關係ノ將來ニ緊
 要ノ點警ツ及ボスヘキハ疑フヤカラズト説キ切ニ其再
 考ヲ促シ莫一ドモ氏ヲシテ再考ノ意思ヲ表現セシム
 ルニ至リマスレテ遂ニ相別レ焉

同夜タフト氏ハ就任式ノ一部ヲ飛成スル舞踏會ニ陪席
 相成水官大島マ亦他ノ外矢官ト共ニ参列シ且其各負

外務省

是見ニ際シ本官ハ或筋ノ注ニ由リ他ノ外交官ニ先々氏
 ニ進退スルヲ得タルヲ以テ本官ハ先づ其登職ニ對シ一
 己ノ祝意ヲ表シタル後戒ホヒテ、天皇陛下ヲ始メ奉
 リ官民相共ニ同氏ノ登任ヲ歡喜スルハ本官カ証言スル
 所ナル旨ヲ陳ハタルニタフト氏ハ之ニ對シ余ハ慶々陛
 下ニ謁見シ御知過ヲ希フスルノシナラズ貴國政府内ニ
 ハ桂首相始メ我多ノ友人ヲ有スルハ故ニ將來益兩國ノ
 親善ヲ謀ルヘキハ勿論ニシテ是類ト爲ル兩國ニ穿スル
 要務ヲ処理スルニ際シテハ友情ヲ以テ之ニ奉リタルハ
 貴方承知ノ通りナシトテ例ノ如ク時突ヲ表セヨシ焉右
 ハタフト氏カ自露講和ノ初ニ帝々大統領不在中偶國務
 長及養病ノ故旅行中ナリシ際本友ノ請求ニ應シ大統領
 ト機密ノ電信ヲ往復シタルヲ有之爾後帝時ノ事情ヲ追

MT 01136 00028

MT 01136 00027

懐シテ本官ニ笑話スルノ習癖有之者ニ付當夜亦其事ニ
 言及シタルモノニシテ平生ヨリ帝國ニ對シ深望ナル友
 情ヲ有スルヲ表明スルノ意ニ出テタルモノトヒ察ス
 右ハ既ニ梅電第ニ四号ヲ以テ大要ヲ具報置矣ハドモ口
 氏ノ唇邊ト夕氏ノ微笑トハ常日ノ奇觀ニ有之者ニ付更
 ニ詳報ニ及ス致具

外務省

MT

01136

00029

18

REEL No. 1-0094

0552